

令和6年 第4回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (19人、55項目)	備考
1	池田 英司	1 稲城中央公園総合体育館西駐車場の混雑緩和について 2 矢野口地区のまちづくりについて	
2	つのだ 寛美	1 心に寄り添う支援について 2 日本語を全く話せない外国人に対する日本語教育について 3 長峰中央通りでの諸課題について	
3	山岸 太一	1 地域で介護を支える介護事業所の危機的状況と事業継続のための支援に向けて 2 小中学校給食費の完全無償化の実現に向けて 3 核兵器の廃絶により被爆者を二度とうみださない世界をつつていくために 4 混乱の広がるマイナ保険証の強制中止に向けて	
4	坂田たけふみ	1 東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)と今後の計画策定について 2 1人1台タブレット端末活用の取り組みについて	
5	角田 政信	1 自転車に関する道路交通法改正について 2 不登校対応について	
6	岩佐 ゆきひろ	1 庁用自動車の貸し出しについて 2 公共交通について 3 総合体育館の個人開放について	
7	佐藤 しんじ	1 高齢者のコミュニケーションの機会を広げる取り組みについて 2 市民の安全、生活を守る取り組みについて 3 サイバー犯罪から身を守る、ネットリテラシー向上のための取り組みについて 4 障がいのある市民の不便さ、生きづらさを解消するための取り組みについて	
8	岡田 まなぶ	1 小中学校の不登校の児童・生徒への支援について 2 路線バス・バスの維持・拡充について 3 国民健康保険について 4 会計年度任用職員の待遇改善と契約更新回数の上限撤廃について	
9	梶浦 みさこ	1 思春期外来・ユースクリニック等について 2 マルチハザード(複合災害)対策について 3 バス停広告収益を活用した上屋・ベンチの設置などバス停の環境向上について	
10	湯谷 ひろし	1 ヤングケアラー・若者ケアラーの支援について 2 防火水槽、消火栓に関する災害時の備えについて 3 稲城市立病院の駐輪場における安全対策について	
11	村上 洋子	1 医療的ケア児の地域生活支援について 2 ヤングケアラー、若者ケアラーの調査と支援を計画に位置づけることについて 3 「はじめの100か月の育ちビジョン」についての稲城市の認識と今後の取組について	

12	中島 健介	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業について 2 災害対応自動販売機について 	
13	武田 まさひと	<ul style="list-style-type: none"> 1 現行の健康保険証が発行されなくなることについて 2 選挙の開票事務について 	
14	土居 のりひろ	<ul style="list-style-type: none"> 1 ジャイアンツタウンスタジアム完成に合わせた周辺道路等の整備について 2 弁天通り商店街の交通規制について 3 GIGAスクール構想について 4 志を育む教育について 	
15	川村 あや	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業および賑わいの創出や高架下利用について 2 市内スポーツ施設の活用について 	
16	田島 きく子	<ul style="list-style-type: none"> 1 学校の暑さ対策について 2 市内の公園・広場でのトイレの設置について 3 小中学校のトイレに生理用品を常備することについて 	
17	榎本 久春	<ul style="list-style-type: none"> 1 緑を育て守るための樹木の維持管理について 2 認知症に関する正しい知識と普及啓発について 	
18	いそむらあきこ	<ul style="list-style-type: none"> 1 誰一人取り残されない学びの多様化について 2 みんなが安心して学べる学校づくりについて 3 学童クラブの拡充について 4 養育費確保支援事業について 	
19	鈴木 誠	<ul style="list-style-type: none"> 1 防災に関する稲城市の取組について 2 救急搬送におけるマイナンバーカードの利活用について 3 屋外の不動産文化財の整備、活用について 	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	新政会	池 田 英 司

項 目 番 号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>稲城中央公園総合体育館西駐車場の混雑緩和について</p> <p>稲城中央公園総合グラウンド、総合体育館、野球場を利用する各種スポーツ大会の開催日が、例年重なる時期があり、その際、総合体育館西駐車場が非常に混雑し、入出庫、特に出庫時に長時間の待ち時間が発生しています。大会が重なる日には、スポーツ連盟ごとに駐車台数枠を制限するなど混雑緩和に努められていますが、なかなか解消されない状況があります。市では、令和7年度に駐車場機器の更新とキャッシュレス化が予定されていると聞いております。そこで、総合体育館西駐車場の混雑緩和と駐車場機器の更新などについて伺います。</p>	
	<p>(1) 総合体育館西駐車場の収容台数、および令和5年度、平日1日当たりの平均駐車台数、また、令和5年度、土曜、日曜日1日当たりの平均駐車台数を伺います。</p>	
	<p>(2) 各種スポーツ大会の開催日が重なってしまう際に、総合体育館西駐車場が非常に混雑し、特に出庫時に長時間の待ち時間が発生していることについて、市の認識を伺います。</p>	
	<p>(3) 総合体育館西駐車場の混雑緩和につながる対応の一つとして、入出庫のための駐車場機器を時間短縮につながる最新の機器に更新していくことなども考えられるかと思いますが、市の認識を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>矢野口地区のまちづくりについて</p> <p>(1)多7・5・2号公園通り梨の道線の整備について 多7・5・2号公園通り梨の道線については、「両側が歩道となる通常の道路形態として整備し、30メートル区間は、安全な幅員に見直しをする。」とのことでしたが、その後の進捗状況について伺います。</p> <p>(2)（仮称）矢野口公園の整備について （仮称）矢野口公園については、「矢野口自治会館に隣接する土地も公園の用地とする換地変更を行う方針。」とのことでしたが、その後の進捗状況について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>心に寄り添う支援について</p> <p>気持ちに寄り添ってもらうことで、人は前向きになれる。このように、とても落ち込んでいる人や悩んでいる人には、しっかりと気持ちに寄り添ってあげた方が、心のこもったサポートになると思います。</p> <p>(1) 自殺対策について</p> <p>① 現状について伺います。</p> <p>② 課題について伺います。</p> <p>③ 今後の取組について伺います。</p> <p>④ 自治体連携事業について伺います。</p> <p>(2) 母子手帳アプリについて</p> <p>① 現状について伺います。</p> <p>② 課題について伺います。</p> <p>③ きずなメール・プロジェクトを含む今後の取組について伺います。</p>	
2	<p>日本語を全く話せない外国人に対する日本語教育について</p> <p>社会や経済のグローバル化が進み、国際社会及び我が国を取り巻く環境が大きく変化する中、我が国が今後も健全に成長し魅力ある国であるためには、諸外国との交流や協力を一層充実させていくことが重要だと思えます。</p> <p>(1) 本市における日本語教育の現状について伺い</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	ます。	
	(2) 英語が使えない他、日本語を全く話せない外国人に対する日本語教育について伺います。	
	(3) 英語が使えない他、日本語を全く話せない外国人に対する日本語教育の今後の展望について伺います。	
	(4) 稲城市国際交流事業の更なる推進について伺います。	
3	長峰中央通りでの諸課題について 長峰中央通りでは、スピードを上げて通る車があることから、子どもの飛び出し事故等を懸念する声もあり、地域住民から安全対策を望む声があります。また、南多摩尾根幹線道路における夜間工事による迂回路として長峰中央通りを多くのトラックなどが走行するため騒音問題も発生しています。	
	(1) 長峰中央通りの横断歩道沿いの看板設置について	
	① 現状について伺います。	
	② 今後の取組について伺います。	
	(2) 南多摩尾根幹線道路における夜間工事による、長峰中央通りを迂回路とすることについて	
	① 現状と課題について伺います。	
	② 夜間工事のスケジュールについて伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
3	日本共産党	山岸太一

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>地域で介護を支える介護事業所の危機的状況と事業継続のための支援に向けて 介護事業者の倒産・廃業がかつてないペースで増加しています。特にこれまで地域で介護事業を支えてきた訪問介護事業所が事業を続けられなくなっている現状があります。市が事業継続のために必要な支援を行っていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 東京商工リサーチが公表した令和6年1月から10月までの介護事業者の倒産件数について聞きます。</p> <p>(2) 東京都福祉局が公表している介護事業者に関する情報の「廃止事業所一覧（令和6年4月付～令和6年9月付）」の「訪問介護」の合計数について聞きます。</p> <p>(3) 訪問介護事業所が事業を継続するためにも「訪問介護基本報酬の引き下げ撤回」を国に求めるべきと考えるが認識を聞きます。</p>	
2	<p>小中学校給食費の完全無償化の実現に向けて ついに来年1月から給食費を無償化する方針が明らかになりました。しかし、令和7年度以降の実施については明確になっていません。給食費は無償であることを市の制度として明文化して、完全実施していくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 多摩地域で小中学校の給食費が無償化・一部無償化（第2子・第3子等）となっている自治体名について聞きます。</p> <p>(2) 市の条例・規則において給食費に関する記載があるものについて聞きます。</p> <p>(3) 多摩地域で給食費を無償化するにあたって条例改正をした自治体について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(4)「稲城市学校給食費の管理に関する条例」に給食費は無償であることを明記すべきと考えるが認識を聞きます。</p> <p>核兵器の廃絶により被爆者を二度とうみださない世界をつくっていくために 日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）のノーベル平和賞受賞は、とても大きな驚きと喜びをもって受け止められています。稲城市内にも長年、日本被団協の中心として運動をけん引されてきた市民がいらっしゃいます。今こそ、稲城市が東京の自治体の中で核兵器廃絶の取り組みの先頭に立つことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 市内の被爆者の状況について聞きます。</p> <p>(2) 市としてこれまで行ってきた核兵器廃絶の取り組みについて聞きます。</p> <p>(3) 市教育委員会としてこれまで行ってきた核兵器廃絶の取り組みについて聞きます。</p> <p>(4) 日本被団協のノーベル平和賞受賞について市長としての所感を聞きます。</p>	市長答弁を 求める
4	<p>混乱の広がるマイナ保険証の強制中止に向けて「紙の保険証の新規発行停止」が12月2日に強行実施されましたが、混乱はおさまっていません。改めて市民の不安解消のために、マイナ保険証の強制中止を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 直近のマイナ保険証の利用件数と利用率について聞きます。</p> <p>(2) 「利用登録解除」手続きの概要について聞きます。</p> <p>(3) 市民の不安払しょくについて ①マイナ保険証使用による窓口でのトラブル事例の把握状況について聞きます。 ②令和6年10月31日社会保障審議会医療保険部会資料の「マイナ保険証・資格確認書の周知広報」の主な内容について聞きます。 ③市民の不安払しょくのための市としての取り組みについて聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
4	新政会	坂田たけふみ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）と今後の計画策定について</p> <p>東京都では現在、約 1,300 路線、約 3,200 km の都市計画道路が計画決定されており、これらの整備を計画的、効率的に進めるため、約 10 年間で整備する路線を示した事業化計画を 4 度にわたり定め、事業が推進されてきています。</p> <p>現行の都市計画道路の整備方針、すなわち「第四次事業化計画」は平成 28 年 3 月に策定され、令和 7 年度までの計画となっています。</p> <p>令和 6 年第 3 回都議会定例会において、自民党の小松大祐都議会議員より、新たな整備方針の策定に向けた都の取り組みに関する質問があり、都では、新たな整備方針の検討に入るとの答弁がございました。</p> <p>こうした都の取り組みを受け、市においても第四次事業化計画に位置付けられている稲城市の都市計画道路の整備について検証するとともに、新たな整備方針に向けた優先整備路線の位置づけについて検討が必要になるかと思えます。</p> <p>（１）都市計画道路の現状について</p> <p>① 現時点における東京都内の都市計画道路の整備状況について伺います。</p> <p>② 現時点における稲城市内の都市計画道路の整備状況について伺います。</p> <p>③ 第四次事業化計画に位置付けられている稲城市内の都市計画道路について伺います。</p> <p>④ これらの都市計画道路における現在の事業化状況について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>（２） 新たな整備方針の検討について</p> <p>① 現在、未着手となっている稲城市内の都市計画道路について伺います。</p> <p>② 新たな整備方針の検討にあたり、稲城市内の未着手の都市計画道路全てを優先整備路線として位置づけることは非常に難しいと思います。そこで、優先整備路線への位置づけを検討するにあたり、未着手の都市計画道路の中からどのように選択していくことになるのか、考え方について伺います。</p> <p>1人1台タブレット端末活用の取り組みについて</p> <p>稲城市のGIGAスクール構想では、「タブレット端末機器を活用し、子どもたちの資質・能力が一層確実に育成できる環境を実現し、多様な子どもたち一人ひとりに対して個別最適化された学習指導の一層の充実や「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改革を進めています。」とあります。タブレット端末を導入したことで、子どもたちの教育環境は大きく変化しました。</p> <p>（１）タブレット活用のガイドブックにおける、各学年で身に付けさせたいICT操作について伺います。</p> <p>（２）小中学校におけるタイピングの取り組みについて伺います。</p> <p>（３）小中学校における外部キーボードの使用ルールについて伺います。</p> <p>（４）小中学校における家庭学習でのタブレット端末の活用について伺います。</p> <p>（５）小中学校のパソコン室で使用していた教育用コンピューターについて伺います。</p>	

通告 番号	会 派 名	氏 名
5	新 政 会	角 田 政 信
項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>自転車に関する道路交通法の改正について</p> <p>自転車運転中の携帯電話使用等に起因する交通事故が増加傾向であること及び自転車を酒気帯び状態で運転した際の交通事故が死亡・重傷事故となる割合が高いことから、交通事故を抑止するため、令和6年11月1日から道路交通法が改正され、新しく罰則規定が整備されました。</p> <p>市内外においても、携帯電話を片手で操作しながら自転車を運転する方などを見かけることが多くなり、歩行者などにとって非常に危険な状態が増えてきたように感じられます。改めて、交通事故を抑止する取り組みの必要性を認識した次第です。</p> <p>(1)令和6年11月1日に改正された道路交通法の概要について伺います。</p> <p>(2)市民への周知方法について伺います。</p> <p>(3)法改正に伴う市の交通安全啓発活動について伺います。</p>	
2	<p>不登校対応について</p> <p>東京都教育委員会は令和6年10月31日に「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果を公表しました。</p> <p>公立小中高校の不登校の児童生徒の総数は3万7059人で前年度比20.1%増と過去最多を更新しました。内訳では、公立小学校1万3275人(前年度24.1%増)、公立中学校1万8451人(前年度比13.7%増)となっています。</p> <p>稲城市では、こうした不登校対応について、令和5年度より、校内別室指導支援員配置事業を進め、令和6年4月には、市立中学校6校全校に配置されています。そこで、令和5年度からスタートした不登校対応加配教員と、令和6年度からスタートした不登校対応巡回教員について伺ってまいります。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	改革未来の会	岩佐ゆきひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>庁用自動車の貸し出しについて</p> <p>(1) 全国の自治体で庁用自動車を土日等、利用しないときに貸し出す事例が増えてきており、本市でも取り組めないかと考え、以下の点について伺います。</p> <p>①市役所で管理している庁用自動車の総数について</p> <p>②8人乗り以上の普通乗用車、普通免許で運転出来るトラックの台数について</p> <p>③市民に対して庁用自動車を貸し出すことに対する市の見解について</p> <p>(2) 環境省が令和5年12月に発表した「令和6年度環境省重点施策集」では、意欲的な脱炭素の取り組みを行う地方公共団体等に支援を行う「地域脱炭素推進交付金」の対象事業としてEV公用車を活用したカーシェアリング事業をすすめておりますが、この事業に対する市の見解を伺います。</p>	

2	公共交通について	
	(1) iバスの第Ⅲ期路線見直しに向けて、乗降調査を実施するとのことでしたが、調査の概要について伺います	
	(2) 南山東部地区内の多摩都市計画道路3・4・16号稲城南多摩線も2月に開通とのことですが、路線見直しを行う時期について伺います。	
	<p>(3) 稲城市地域公共交通会議においては、路線バスの減便の問題やiバスの第Ⅲ期路線見直しについてなど、様々な協議を行っておりますが、以下の点について伺います。</p> <p>①令和6年度における稲城市地域公共交通会議の協議内容について</p> <p>②稲城市地域公共交通会議の今後のスケジュールについて</p>	
	<p>(4) 特に高齢者の移動手段としてはバスが大きな役割を持ち、市としても公共交通機関を推奨しております。路線バスなどが減便されている状況についての対策をうかがいます。</p> <p>①路線バスについて</p> <p>②iバスについて</p>	

3	総合体育館の個人開放について	
	<p>(1) 総合体育館の個人開放においては、バドミントン、卓球等、様々なスポーツができ、多くの市民に利用されております。</p> <p>①現在、個人開放されている主なスポーツの種目及び、時間帯について</p> <p>②令和6年4月から9月までの利用状況について</p> <p>③ラケット等の道具の貸し出し方法について</p>	
	<p>(2) 令和6年度、総合体育館では8月から体育館のシューズの貸し出しをはじめておりますが、その利用状況と、市に対して意見が寄せられているのか伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
7	公明党	佐藤しんじ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>高齢者のコミュニケーションの機会を広げる取り組みについて</p> <p>望まない孤独が無い社会、そして、元気にいきいきと暮らす高齢者の姿は、人生 100 年時代において大きな希望となります。それには、高齢者のコミュニケーションの機会が、より一層広がることが重要であると考えます。当市の「ふれあい電話」のような、電話を活用した、行政が高齢者と直接コミュニケーションをとる取り組みや、高齢者向け介護予防アプリ「オンライン通いの場アプリ」のような、コミュニケーション機能を備えるオンラインアプリを活用した取り組みは、高齢者のコミュニケーションの機会を広げることにおきましても有効であると考えます。</p> <p>(1) ふれあい電話について伺います。 ① 過去 5 年間の登録者数について伺います。 ② 効果について伺います。</p> <p>(2) 高齢者向け介護予防アプリ「オンライン通いの場アプリ」について伺います。 ① 効果について伺います。 ② 周知について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>市民の安全、生活を守る取り組みについて</p> <p>令和6年9月、東京都日野市において、市が管理する緑地内で、いちょうの木の枝が落下し、下敷きになった男性が死亡するという、いたましい事故が発生しました。近隣市での事故の報に接した市民からは、緑豊かで樹木の多い稲城市であるが故の、倒木等による被害発生への懸念の声を、決して多くはありませんが、お聞きいたします。また、テレビやネットメディア等で報道されていますが、闇バイトによる強盗事件が多発しており、とりわけ、お一人暮らしのご高齢者などは大変ご心配されています。</p> <p>(1) 樹木の倒木について伺います。</p> <p>①過去5年間における、街路樹及び、緑地内の樹木の倒木による、人や建物等への被害件数について伺います。</p> <p>②点検や調査等の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 闇バイトについて伺います。</p> <p>①過去5年間、稲城市内における強盗事件の発生件数と、そのうち、闇バイトによる強盗事件の発生件数について伺います。</p> <p>②防犯対策について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>サイバー犯罪から身を守る、ネットリテラシー向上のための取り組みについて</p> <p>ネットリテラシー（インターネットを安全に正しく利用するための知識や能力）を養うことは、学習面においてだけではなく、インターネット上での、いじめや誹謗中傷、詐欺や闇バイト等のトラブルから、子どもたちが、現在から将来にわたって、自身の身を守るために大変重要であります。そこで、小中学生を対象とした、ネットリテラシー向上のための、講演、研修等の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 現在の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 今後の取り組みについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>障がいのある市民の不便さ、生きづらさを解消するための取り組みについて</p> <p>事業者による障害のある人への「合理的配慮の提供」が義務化された、改正障害者差別解消法が令和3年に成立し、令和6年4月1日に施行されました。公明党は、誰もが暮らしやすい共生社会の実現を一貫して推進し、障害者差別解消法の成立や、同法改正をリードして参りました。行政における、障がいのある市民の不便さ、生きづらさを解消していくための取り組みにおきましても、合理的配慮の提供の観点から、とても重要であると考えます。</p> <p>(1)障がいのある市民との接し方における、合理的配慮の提供について伺います。</p> <p>① 現状について伺います。</p> <p>② 課題について伺います。</p> <p>③ 今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(2)市役所第一駐車場における、障害者等用駐車場の利用について伺います。</p> <p>①障害者等用駐車場を、健常者も利用できる場合について伺います。</p> <p>②障害者等用駐車場が、より一層、適正に利用されるよう、その推進に努めていただきたいと考えますが、市の認識を伺います。</p> <p>③パーキングパーミット制度の導入について、市の認識を伺います。</p> <p>(3)市立病院における、薬の処方について伺います。</p> <p>①市立病院は原則として、院外処方を採用していますが、院内処方、或いは、院内で薬を受け取れるケースなどについて伺います。</p> <p>②車いす等を使用する障がいのある方が、院内処方等、院内で薬を受け取ることができるような環境への整備に努めていただきたいと考えますが、市立病院の認識を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
8	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>小中学校の不登校の児童・生徒への支援について</p> <p>(1) 小中学校の不登校の過去 5 年間の児童・生徒数は。</p> <p>(2) 不登校の児童・生徒への支援についての市の基本姿勢は。</p> <p>(3) オンライン授業による学習支援は重要と考えるが市の認識と取り組み状況は。</p> <p>(4) 国は平成 29 年 (2017 年)、教育機会確保法を施行し、学校の枠に縛られない多様な学びの場を認めている。フリースクールなど学校以外の多様な学びの保障について、あらためて市の認識は。</p> <p>(5) 東京都はフリースクールへの補助を行っている。国、都、市で、フリースクールへの公的支援を拡充していくべきと考えるが認識は。</p>	
2	<p>路線バス・iバスの維持・拡充について</p> <p>市民の暮らしを支える地域公共交通である路線バス・iバスを守るために、バス運転手の賃金・処遇改善、国・都・市の公的支援・補助等、路線バスの維持・拡充を求めて質問する。</p> <p>(1) 市民の暮らしを支える地域公共交通として、市内路線バスを令和 6 年 (2024 年) 3 月以前の便数に戻すこと、および、今後、路線バス、iバスが減便とならないようにバス事業者を求めるべきと考えるがあらためて認識を問う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(2) 路線バス、iバスの維持・拡充のために、東京都市長会などを通じて、国、東京都に支援・補助を求めるべきと考えるが認識は。</p> <p>(3) 東京都は多摩センター駅など都内3地区で自動運転バスの実証運行を行う。地域公共交通を守るために、自動運転バス、デマンド交通導入など調査・研究していくべきと考えるが認識は。</p> <p>(4) 路線バス減便で自転車利用に切り替えた市民も増えている。この間、稲城駅北口自転車駐車が満車で利用できないことがあるとの声が寄せられている。稲城駅北口自転車駐車の利用状況、満車の状況は。</p> <p>3 国民健康保険について</p> <p>(1) 過去3年間の国民健康保険の被保険者数と人口に占める割合、国保加入世帯数と市の世帯数に占める割合は。</p> <p>(2) 保険証廃止後の保険税を滞納している世帯等への対応は。</p> <p>(3) 子育て世代の負担軽減のために、子どもに係る均等割保険税の廃止を求めるが認識は。</p> <p>(4) 国民健康保険の都道府県化に伴う法定外繰入の解消計画について。</p> <p>(5) 物価高騰で厳しい暮らしがつづくもとで、国民健康保険税は値上げすべきでないと考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>(6) 東京都市長会は、国民健康保険制度における国の公費負担割合拡大を求めている。高すぎる国民健康保険税のこれ以上の値上げを抑えるためにも、引き続き、国の公費負担割合拡大を求めていくべきと考えるが認識は。</p> <p>会計年度任用職員の待遇改善と契約更新回数の上限撤廃について</p> <p>(1) 稲城市の正規職員、再任用職員、非正規職員（第1種、第2種会計年度任用職員）の令和6年(2024年)4月時点の人数は。</p> <p>(2) 臨床心理士、介護福祉士など専門的な資格や知識が必要な職種は正規雇用とすべきと考えるが認識は。</p> <p>(3) 物価高騰のもと、安心して働き続けることができるように、会計年度任用職員の時給を1500円以上へと引き上げるべきと考えるが認識は。</p> <p>(4) 常勤職員の給与改定が行われる際、会計年度任用職員の報酬も、常勤職員の給与改定に準じて改定するべきと考えるが認識は。</p> <p>(5) 会計年度任用職員の契約更新回数の上限撤廃が求められる。令和6年(2024年)第3回定例会で市は「契約更新回数の上限撤廃の検討」を答弁しているが検討状況は。</p>	

通告番号	会派名	氏名
9	無所属	梶浦みさこ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>思春期外来・ユースクリニック等について</p> <p>心身の成長による急速な体や心の変化により、様々な身体症状が出現し不安や落ち込み・不登校などの悩みを抱える児童・生徒の皆さんが安心して相談でき、早期治療につなげることができる体制強化が望まれると考え、思春期特有の健康や性の悩みを相談できる「ユースクリニック」・「思春期相談室」・「思春期外来」等について伺います。</p> <p>(1)助産師の出張講座「性教育(生命の安全教育)」について</p> <p>稲城市立病院の思春期保健相談士・性教育認定講師の助産師による性教育(生命の安全教育)は令和2年から開始されました。取り組みの状況について伺います。</p> <p>(2)思春期保健相談士・性教育認定講師について</p> <p>稲城市立病院の助産師の方が取得された「思春期保健相談士」・「性教育認定講師」とはどのような制度であるのか、その内容について伺います。</p> <p>(3)「思春期外来」について</p> <p>稲城市立病院では、思春期早発症など小児の内分泌代謝性疾患の診断・治療の専門外来を行っているところであります。不調を抱え不登校などの悩みを抱える思春期の児童・生徒の健やかな成長を医療面から支える「思春期外来」等の専門外来の設置について見解を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(4)「ユースクリニック」・「思春期相談室」などの思春期相談について</p> <p>内診などの医師の診察や服薬などの治療を望まないとしても思春期特有の悩みを抱える皆さんが心身症状により生活上の支障や不安を安心して相談でき、不安・悩みを緩和・解消できる場として「ユースクリニック」・「思春期相談室」・「まちの保健室」などの取り組みが注目されています。また、これらの相談事業は専門的な治療につながる窓口になるものと考えます。「とうきょう若者ヘルスサポート(わかさぼ)」のような「ユースクリニック」・「思春期相談室」・「まちの保健室」等の思春期相談の実施について伺います。</p>	
2	<p>マルチハザード(複合災害)対策について</p> <p>能登半島では、1月の大地震につづき、9月には記録的な集中豪雨による浸水や土砂崩れにより被害が拡大する複合災害が発生し、応急対策・復旧・復興の困難さが指摘されています。</p> <p>大規模な地震・風水雪害・火山噴火・感染症・危険物事故・災害級の猛暑など同種・異種の危機・危険が複合化した場合、先発災害の体制から後発災害の対応にいかんスムーズに入れるかが重要であると考えます。</p> <p>複合災害による被害拡大を防止し市民の命や暮らしを守るという観点からマルチハザード(複合災害)対策について伺います。</p>	
	(1)複合災害対策に関する国・都の動向について	
	(2)稲城市における複合災害対策について	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(3)複合災害に関する稲城市災害時業務継続計画(BCP)について	
	(4)複合災害に対する意識啓発について	
3	<p>バス停広告収益を活用した上屋・ベンチの設置などバス停の環境向上について</p> <p>バス停広告は、付近に他の広告物が少ない「高い視認性」、利用者や通行者の「目に入る反復性」、地域生活に密着した「エリアマーケティングに適した特化性」などの広告事業にとってのメリットがあるとされ、バス停は稲城市にとって潜在的な価値の高いインフラであると考えます。</p> <p>iバスのバス停について、広告事業による収益を活用した上屋やベンチの設置などにより、バス停利用者の利便性の向上が図れるのではないかと考え市の見解を伺います。</p> <p>(1)市内バス停の状況について</p> <p>iバスの各バス停の広告の状況について伺います。</p> <p>(2)バス停広告に関する国・都の動向について</p> <p>国土交通省、警察庁、東京都のバス停広告に関する動向について伺います。</p> <p>(3)バス停広告収益を活用したバス停の環境向上について</p> <p>ポスター型バス停広告、液晶ディスプレイ型のデジタルサイネージ(電子看板)バス停広告、行灯型(標準型)バス停広告などバス停広告は様々な手法が開発されており、バス停の設置場所の状況により適した方法があることと考えます。iバス</p>	

	質 問 要 旨	
	のバス停広告と、その収益を活用した上屋やベンチの設置な	
	どiバスのバス停環境の向上について市の見解を伺います。	

通告番号	会派名	氏名
10	公明党	湯谷 ひろし

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>ヤングケアラー・若者ケアラーの支援について</p> <p>令和6年6月、公明党の推進により、「子ども・若者育成支援推進法」が改正され、施行されました。今回の法改正で、国や自治体がヤングケアラーの支援に努めることが明確化されました。</p> <p>本市においても、ヤングケアラー・若者ケアラーの把握に関して、各関係機関が、積極的に情報の収集を行うとともに、地域から情報をあげていただけるように、さらに周知啓発を行うべきであると考えます。また、こどもや家族が相談しやすい環境づくりが必要であると考えます。</p> <p>(1)ヤングケアラー・若者ケアラーの把握について</p> <p>①本市は、保育園、小中学校や福祉施設等の関係機関からの相談等により把握してきました。この取組について伺います。</p> <p>②小中学校における、ヤングケアラーの把握について教育委員会の方針を伺います。</p> <p>③市内在住の中学校を卒業した18歳未満のヤングケアラーの把握の方法について伺います。</p> <p>(2)ヤングケアラー・若者ケアラーの相談窓口について</p> <p>①一元的な相談窓口を設置するのではなく、さまざまな窓口</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>を設けて、ヤングケアラー・若者ケアラーの相談に対応していることについて、市の考えを伺います。</p> <p>②さらに子どもや家族が相談しやすい窓口にすることについて、市の考えを伺います。</p> <p>(3)地域の皆様からヤングケアラーや若者ケアラーの情報をあげていただくための取組について伺います。</p>	
2	<p>防火水槽、消火栓に関する災害時の備えについて</p> <p>令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、断水等により消火栓が使用できない、また、建物の倒壊等で防火水槽を使用できない事態が起きました。そのため、地震後に起こった火災の消火活動に支障をきたし、被害を拡大させました。多摩東部直下地震への備えが叫ばれている中、いざという時に消防水利施設を使用できるよう、今一度、対策の検討が必要であるとの立場から質問を致します。</p> <p>(1)市内消防水利施設の現状について</p> <p>①市内の消火栓の数について、地区ごとに伺います。</p> <p>②市内の防火水槽の数について、地区別に伺います。</p> <p>(2)防火水槽、消火栓の保守点検について</p> <p>①消火栓の点検の内容・頻度について伺います。</p> <p>②防火水槽の点検の内容・頻度について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(3)防火水槽、消火栓の今後の取組みについて	
	①消火栓の設置計画について伺います。	
	②防火水槽の設置計画について伺います。	
3	稲城市立病院の駐輪場における安全対策について	
	<p>稲城市立病院の駐輪場内には、病院及びオーエンス健康プラザに向かう歩行者や車椅子利用者が通行できる通路が設けられております。特に雨天時において、屋根付きの駐輪場に自転車が集中し、駐輪スペースから通路にはみ出していることがあり、歩行者等から通行に支障をきたしているとの声がございませう。より安全に通行できるよう対策が必要であるとの立場から質問を致しませう。</p>	
	(1)特に雨天時等において、屋根付き駐輪場に自転車が集中し、通路にはみ出していることの対策について市立病院の考えを伺います。	
	(2)駐輪マナー等の啓発について、市立病院の考えを伺います。	
	(3)駐輪場内の通路について、車椅子の通行に支障が出ないようにはみ出すべきであると思ひますが、市立病院の考えを伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
11	無 所 属	村上洋子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1.	<p>医療的ケア児の地域生活支援について</p> <p>医療的ケア児は、出産後まもなくケアが必要であることが明らかになり、退院して帰宅するときから自宅で生活するために地域生活支援が必要になります。</p> <p>しかし、医療的ケア児の保護者は、この時初めて障害福祉の様々な制度について知ることとなり、子どものケアを行いつつ自力で情報を集め、窓口に出向いて様々な手続きを行うことは大変困難を極めます。</p> <p>家庭に戻り、地域での生活を円滑にスタートするために、プッシュ型の支援が望まれます。</p> <p>これらのことについての市の見解と今後の取組について伺います。</p>	
	<p>(1) 市内の医療的ケア児の人数について伺います。</p> <p>(2) 医療的ケア児の退院時の相談、保健所との連携はどのように行われるのか伺います。</p> <p>(3) 市の福祉施策とどのように繋がることのできるのか、流れについて伺います。</p> <p>(4) 市の様々な福祉施策について受給要件、認定要件を緩和できるものがあるのか伺います。</p> <p>(5) 今後の取組について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p>ヤングケアラー、若者ケアラーの調査と支援を計画に位置づけることについて</p>	
	<p>ヤングケアラー、若者ケアラーの調査と支援の必要性についてはこれまで何度も質問をしてきました。</p> <p>市の各種計画にしっかりと位置づけていく事が支援の第一歩となります。</p> <p>市の計画での位置づけについて伺います。</p>	
	<p>(1) 第四次稲城市保健福祉総合計画におけるヤングケアラー支援の記載について</p> <p>① アンケート調査の結果について伺います</p> <p>② アンケート調査結果を反映したヤングケアラー支援の計画への記載の概要について伺います</p> <p>③ 保健福祉総合計画における今後のヤングケアラー支援の具体的な施策等について伺います</p> <p>(2) (仮称)稲城市子ども計画におけるヤングケアラー支援の記載について概要を伺います</p> <p>(3) 第四次稲城市教育振興基本計画(総論の素案)におけるヤングケアラー支援の記載について概要を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3.	<p>「はじめの 100 か月の育ちビジョン」についての 稲城市の認識と今後の取組について</p>	
	<p>2023(令和5)年 12 月 22 日、こども家庭審議会の答申を基に「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの 100 か月の育ちビジョン)」が閣議決定されました。</p> <p>生後 100 か月の子どもの育ちが、その後の人生の充実やウェルビーイングに大きく影響するとされることから、市の各種施策の中にきちんと位置付けていく事が求められます。</p> <p>市の認識と今後の取組について伺います。</p>	
	<p>(1) 「はじめの 100 か月の育ちビジョン」が策定された背景と目的について伺います。</p> <p>(2) 幼児期までのこどもの育ちの 5 つのビジョンについて伺います。</p> <p>(3) 今後の市の取組について伺います。</p> <p>① (仮称)稲城市こども計画への位置づけについて伺います。</p> <p>② 施策について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
12	稲志会	中島 健介

項目 番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業について</p> <p>昭和52年の開店から47年の間、地域の方に親しまれてきましたグルメシティ稲城店が、残念ながら令和6年6月30日に閉店されました。</p> <p>このような稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業地内の環境が大きく変化したことに伴い、多くの地域住民の方々から当該事業の今後の進展について、お問い合わせが多く寄せられております。</p> <p>また、稲城市が平成15年3月に策定されました都市計画マスタープランでは、稲城長沼駅周辺から稲城駅周辺を結ぶ一帯を市の活力創造拠点として中心地区に定められており、稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の行く末を多くの市民が注目しています。</p> <p>そこで、当該事業について、令和5年第4回定例会一般質問においても質問させていただきましたが、区画整理事業地内の環境変化も踏まえて、事業の進捗と今後の方針について伺ってまいります。</p>	
	(1) 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の進捗状況について	
	(2) グルメシティ稲城店の閉店の経緯について	
	(3) 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の今後の事業計画について	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>災害対応自動販売機について</p> <p>大災害が発生した際は、市民、市職員を含めた全員が被災者となってしまいうため、救援物資の搬入などへの人的な対応が困難となり、命をつなぐ救援物資が届けられない可能性が考えられます。</p> <p>その際には、どんな状況でもすぐに必要とされる飲み水の確保は非常に重要で、災害対応自動販売機はその役割を補うことが可能だと考えます。</p> <p>そこで、稲城市の公共施設内の災害対応自動販売機の設置状況とそれらの種類、管理状況とそれぞれの災害時の運用方法について伺うとともに、他市の災害対応自動販売機に関する取組を参考にしながら、災害時に市民が公共施設に行けば、飲料を確保できる体制を整備することが市民の安心な暮らしに繋がると考え、質問させていただきます。</p> <p>(1) 災害対応自動販売機とはどのようなものか</p> <p>(2) 災害対応自動販売機の種類について</p> <p>① バッテリー式災害対応自動販売機について</p> <p>② ハンドル充電式災害対応自動販売機について</p> <p>③ ワイヤー式災害対応自動販売機について</p> <p>(3) 稲城市内の公共施設に設置してある自動販売機の総数について</p> <p>(4) 災害対応自動販売機の管理運用方法について</p> <p>① 現在、導入されている災害対応自動販売機の設置の経緯について</p> <p>② 災害対応自動販売機の設置費用や電気代などの維持管理費について</p> <p>(5) 他市の災害対応自動販売機設置協定の動向について</p> <p>(6) 災害対応自動販売機導入についての市の考えについて</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
13	無所属	武田まさひと

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>現行の健康保険証が発行されなくなることについて</p>	
	<p>12月2日から現行の健康保険証が発行されなくなりました。この政策について、正確な告知や徹底した周知に追われていることと思います。12月2日以降は資格確認書や資格情報のお知らせの送付なども必要になります。そこで被保険者が迷わないようにしなければなりません。制度の確認及び市の対応策が重要だと考え質問をします。</p>	
	<p>(1) 12月2日に現行の健康保険証が発行されなくなりますが、現行の健康保険証は直ちに使用なくなるのか、また使えるとしたらいつまでなのか伺います。</p>	
	<p>(2) 資格確認書について</p>	
	<p>① 資格確認書とはどういうものなのかを伺います。</p>	
	<p>② 稲城市において、資格確認書の送付対象者は何名か伺います。</p>	
	<p>③ 交付にあたってのしるじや申請の必要がない対象者について伺います。</p>	
	<p>④ 資格確認書を申請しなければ交付されない場合を伺います。</p>	
	<p>⑤ マイナ保険証が無い方が、転職などで保険者が変わる場合の資格確認書の発行について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(3) 資格情報のお知らせについて	
	①資格情報のお知らせはどのようなものなのかを伺います。	
	②資格情報のお知らせを送付する条件を伺います。	
	③対象者は何名なのか伺います。	
	(4) マイナ保険証の解除について伺います。	
	①令和6年10月28日からマイナ保険証の解除が可能となりましたが、稲城市では何名の方が解除したのか、年代別に伺います。	
	②マイナ保険証を解除する主な理由を伺います。	
	③解除の方法と手順及び注意点を伺います。	
	④マイナ保険証を解除した方への資格確認書の交付のタイミングを伺います。	
2.	選挙の開票事務について	
	稲城市が関わる令和6年の選挙は、7月7日投開票の都知事選挙と都議会議員補欠選挙、そして10月27日に投開票となった衆議院議員選挙と立て続けにありました。その開票作業に時間がかかりすぎるとの声があり、開票集計の効率化や迅速化を目指すべきと考え質問をします。	
	(1) 開票集計速度が自治体トップと謳われている府中市と稲城市の集計について伺います。	
	①令和6年の都知事選挙、都議会議員補欠選挙について、それぞれの投票者数及び集計確定までの所要時間並びに集計に携わった職員等の数を伺います。	
	②令和6年の衆議院議員選挙（小選挙区・比例代表選挙）について、それぞれの投票者数及び集計確定までの所要時間並びに集計に携わった職員等の数を伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	③開票事務について分析しているのか伺います。	
	④今まで府中市等の先進的な集計方法を研究したことがあるのか伺います。	
	(2) 令和4年の参議院議員選挙では、比例代表選出の集計確定が夜明け近くとなったことについて伺います。	
	①原因をどのように分析しているのか伺います。	
	②投票者数及び集計確定までの所要時間並びに集計に携わった職員等の数を伺います。	
	(3) 働き方改革が叫ばれている今、今後選挙に携わる職員の負担軽減に向けての選挙管理事務局のお考え、対策について伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
14	稲 志 会	土居のりひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>ジャイアンツタウンスタジアム完成に合わせた周辺道路等の整備について</p> <p>令和7年3月の「ジャイアンツタウンスタジアム」完成に合わせ、周辺道路の整備及び、玄関口である駅前広場の整備計画が急がれる状況です。</p> <p>よみうりランドのジュエルミネーションが始まり、京王よみうりランド駅には多くの家族連れと若者が訪れ、にぎわいを見せる季節となりました。</p> <p>稲城南山東部土地区画整理事業を支える稲城市としても、市民の安心安全の為、よみうりグループと連携を深めながら、着々と整備を進められていることに感謝を申し上げます。</p> <p>「ジャイアンツタウンスタジアム」完成が迫る中、東京都から事業を受託し、整備を進めている多摩3・4・12号読売ランド線整備事業において、円滑な整備計画の進行、周辺住民が安心して暮らせるための取組、そして利便性の向上や駅前のにぎわい創出の観点から質問いたします。</p>	
	(1) 多摩3・4・12号読売ランド線整備について	
	①京王線側の用地取得について	
	②京王線側の歩道整備について	
	③よみうりランド側の用地取得について	
	④今後の予定について	
	(2) 新規バス路線について	
	(3) 京王よみうりランド駅南口広場の整備について	
	①整備予定について	
	②ジャイアンツタウンスタジアム完成までの設えについて	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	弁天通り商店街の交通規制について	
	<p>市内で数少ない、昔ながらの商店街の面影を残す矢野口地域の弁天通り商店街。現在では時代の流れと共に商店が減り、住宅が増えました。その為、以前のような人々の往来も減少し、昭和52年から始まった歩行者の安全確保を目的とした交通規制の為、朝の通学時間帯と、夕方の買い物時間帯において、居住者を除く車両の通行が禁止された区域となっております。</p> <p>しかし現在は逆に、時代の変遷とともに「夕方の規制を解除して欲しい」との要望を、弁天通り商店街内に住む住人の方から受けている状況です。</p> <p>近隣の保育施設や幼稚園の送迎車が、規制時間帯を走行している現状も踏まえ、時代に即した対応が望まれることから質問いたします。</p>	
	(1) 弁天通り商店街の道路状況の現状について	
	(2) 弁天通り商店街の交通規制の緩和について	
	①市に寄せられる規制緩和に関する意見について	
	②交通規制解除に関わる手続きについて	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	GIGA スクール構想について	
	<p>GIGA スクール構想とは、令和元年に文部科学省が打ち出し、令和3年から導入された、子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けた政府の取組です。</p> <p>稲城市においても、市内小中学生にタブレット端末が支給され、学校内外の学びの場において有効に活用されております。</p> <p>3年が経過し、GIGA スクールは第2期への移行段階へ入り、自治体間格差、学校間格差、導入する機器など、「NEXT GIGA」に注目が集まっています。</p> <p>これからの未来を生きる子どもたちの学習用端末として、様々なスキルを得やすくするための端末の選定や、運用上の利活用に関して質問いたします。</p>	
	(1) GIGA スクール端末の活用について	
	①導入した目的について	
	②活用方法について	
	③活用上の課題について	
	(2) GIGA スクール構想の取組の成果について	
	①児童生徒の取組の成果について	
	②教職員の取組の成果について	
	(3) GIGA スクール構想の今後の取組について	
	①活用方法について	
	②端末の選定について	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	志を育む教育について	
	<p>第三次稲城市教育振興基本計画、第1章 計画の策定にあたっての項目、1. 計画策定の目的では、「激動の時代を豊かに生き、未来を開拓する多様な人材を育成するためには、これまでと同様の教育を続けていくだけでは通用しない大きな過渡期に差し掛かっており、だれもが人間ならではの感性や創造性を発揮し自らの「可能性」を最大化していくこと、そしてだれもが身に付けた力を生かしてそれぞれの夢に向かって志を立てて頑張ることができる「チャンス」を最大化していくこと、これらを共に実現するための改革の推進が、今求められています。」とされております。</p> <p>こちらの内容に大変共感するところであり、このような目的意識を持ち、教育基本方針を策定していただいたことに敬意を表します。</p> <p>それら各地方自治体の教育基本計画とも関わりを持つ、第二次安倍内閣において発足された教育再生実行会議では、七次提言として「21世紀を生き抜くためのスキル・能力」、①主体的に課題を発見し、解決に導く力 ②志 ③リーダーシップ ④創造性 ⑤チャレンジ精神 ⑥忍耐力 ⑦自己肯定感 ⑧感性 ⑨思いやり ⑩コミュニケーション力 ⑪多様性を受容する力、の11の項目が挙げられました。</p> <p>この教育再生実行会議では8年の間、いじめ問題や教育委員会制度改革など様々な提言がされる一方、委員21名から120回以上にわたり、「志を持つことの重要性」「志こそが教育の根幹である」との発言、指摘がありました。</p> <p>そうした流れの中で、我が国の地方自治体では2019年の調査において、都道府県で6割弱、市や区で3割弱、教育大綱や教育振興計画に「志」の文言が記載されております。</p> <p>「志」は個人的願望である「夢」と違い、社会性のともなう、気高く尊い言葉です。</p> <p>何のために勉強をして、何のために働き、何のために生きるのか。</p> <p>志を育むということは、社会への貢献意識を育てることに繋がり、シビックプライドを醸成する取組としても必要であると考えます。</p>	
	(1) 志を育む教育について	
	① 志に関する教育の現状について	
	② 志に関する教育の導入について	

通告番号	会派名	氏名
15	稲志会	川村あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業および賑わいの創出や高架下利用について</p>	
	<p>平成5年8月から行われている稲城長沼駅周辺の区画整理事業について、令和3年第3回定例会でも伺いましたが、その後の進捗状況及び今後の予定について伺います。</p> <p>(1) 稲城長沼駅南側について 稲城長沼駅周辺の用途地域は、近隣商業地域となっておりますが、駅周辺のまちづくりについて、市ではどのように考えているのか伺います。</p> <p>① 予定について伺います。 ② 進捗状況について伺います。 ③ 現状の課題について伺います。 ④ 今後の予定について伺います。</p> <p>(2) 稲城長沼駅高架下について 高架下利用については、雨に濡れずに利用できるスペースとして利用価値が高く、現在もシェアショップやイベントスペース等として利用していますが、まだまだ未利用地が多いと感じています。更なる活用を考えていただきたく質問させていただきます。</p> <p>① 利用の状況について伺います。 ② 現状の課題について伺います。 ③ 今後の予定について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>市内スポーツ施設の活用について</p> <p>稲城市では、市民ひとりスポーツをキャッチフレーズにスポーツの振興を行っています。市内には屋外・屋内と様々なスポーツ施設が設置されており市民の方々をはじめ市外の方にも使用されています。</p> <p>また、今年は稲城市をホームタウンとする東京ヴェルディが16年ぶりにJ1へ復帰し活躍しています。更に、今後は「ジャイアンツタウンスタジアム」が完成予定であることから、更に、スポーツという枠で注目度が高まる事が期待されます。</p> <p>自転車のまち稲城と同時に、スポーツのまち稲城としても市内外の方に利用していただける取組があればと思います質問させていただきます。</p> <p>(1) 総合体育館について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者の状況について ②指定管理者変更後について ③宿泊の受け入れについて <p>(2) 総合グラウンドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者の状況について ②スポーツ以外の利用状況について <p>(3) 稲城中央公園野球場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者の状況について ②野球以外の利用状況について 	

通告番号	会 派 名	氏 名
16	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>学校の暑さ対策について 今年、令和6年の夏の気温は全国的に平年を大きく上回り、近年の日本の平均気温偏差は過去最高を記録しています。このような状況の中で、学校における暑さ対策の課題と今後の対策について質問します。</p> <p>(1) エアコンの作動状態について ①学校のエアコンの修繕および機器交換の件数について、教室とそれ以外に分けて聞きます。 ②修繕および機器交換の内容やその主な原因について聞きます。</p> <p>(2) 今後の対策について ①これからも夏の暑さがより厳しくなっていくことが予想されますが、学校施設における暑さ対策について聞きます。 ②暑さ対策として、熱の進入そのものを軽減させる「断熱」が注目されています。学校施設における断熱対策の実施について認識を聞きます。</p>	
2	<p>市内の公園・広場でのトイレの設置について 市内の施設において、トイレがないことで不便を感じるという声が寄せられています。必要なトイレ設置について質問します。</p> <p>(1) 押立中関児童公園にトイレを設置してほしい、という市民の声が寄せられました。トイレを設置することについて認識を聞きます。</p> <p>(2) 稲城長沼駅南側の広場は、様々なイベントが実施されて多くの市民が集まります。この場所に公共トイレを設置することについて認識を聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>小中学校のトイレに生理用品を常備することについて 女子児童生徒の生と性、そして心の健康のために、小中学校のトイレに生理用品を常備することを求めて、質問します。</p> <p>(1) 生理用品の置き場所について、学校関係者や市民から寄せられている声について ①学校関係者から寄せられている声について聞きます。 ②保護者や市民から寄せられている声について聞きます。</p> <p>(2) 生理用品をトイレに置くことの意義について ①生理用品をトイレに置くことで、困ったときに生徒が生理用品に安心してアクセスできることは、重要なことであると考えますが、市の認識を聞きます。 ②個包装になった生理用品をトイレに置くことは衛生的には問題ないと考えますが、市の認識を聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
17	改革未来の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	緑を育て守るための樹木の維持管理について	
	<p>道路や公園・緑地の植栽・植樹などは、都市緑地にとって重要な役割となっています。都市樹林は、地球環境や生活環境を保全すると共に、人々に憩いや癒しを提供し、日常生活に潤いや活力をもたらすなど多くの緑化機能を発揮しています。この緑化機能を最大限に活用するため、これまでに多くの樹林が都市緑地として植栽されてきましたが、近年では経年的な成長や取り巻く植栽環境の変化などの様々な要因により、都市樹林の大木化や過密化、植栽基盤の劣化、病虫害による育成不良・枯死などが生じており、根上がりや倒木による障害に繋がることも起きています。令和6年9月には、日野市の緑地内にある歩道で、イチョウの枝が落下し下敷きになった男性が死亡するという事故が発生しました。</p> <p>より快適で安全な都市緑地を保全し、日常生活に欠かせない緑を継続していくためには、都市樹林の適切な維持管理が重要と考えます。緑を育て守るための樹木の維持管理について伺います。</p>	
	(1) 緑を育て守るための樹林について、市としてどのように考えられているのか伺います。	
	(2) 都市樹林の維持管理について	
	① 維持管理方法について伺います。	
	② 点検方法について伺います。	
	③ 維持管理の現状について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	④ 今後の取組について伺います。	
	(3) 住民等への理解と協力について伺います。	
2	認知症に関する正しい知識と普及啓発について	
	<p>認知症は誰もがなりうることを、様々な機会をとらえ普及啓発し、地域全体が認知症への理解を深めていくため、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援することが求められてきています。認知症の人や家族が住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、認知症に理解のある人や認知症サポーターなど、身近な地域における支援体制が必要です。また、地域で暮らす認知症の方が自らの思いを発信するなど、認知症の本人が参画することやさまざまな地域活動を通じ、認知症になっても支えられる側ではなく、支える側としての役割をもって暮らせるよう、社会参加や生きがいづくりを推進することも重要といわれています。認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから正しい知識と普及啓発について伺います。</p>	
	(1) 現状の取組について	
	① 認知症サポーターの養成について伺います。	
	② 市民向けの普及活動について伺います。	
	③ 認知症ケアパスについて伺います。	
	④ 認知症カフェについて伺います。	
	⑤ 徘徊高齢者家族支援サービスについて伺います。	
	(2) 取組の成果と期待される効果について	

通告番号	会 派 名	氏 名
18	改革未来の会	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>誰一人取り残されない学びの多様化について</p> <p>文部科学省が公表した「令和 5 年度 児童生徒の問題行動・不登校等 生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、不登校の児童生徒数は 11 年連続で増加し、約 34 万 6,000 人に上っています。これを受け、文部科学省は、家庭から出られない児童生徒を支援員が訪問する「アウトリーチ」事業を強化する方針です。また、不登校児童生徒の保護者の約 5 人に 1 人が離職しているという民間調査の結果を踏まえ、保護者への支援も重要であるとして、相談体制の強化も検討がされています。そこで、本市での誰一人取り残されない学びの多様化を実現するための取組について伺います。</p> <p>(1) 保護者等へのサポートについて</p> <p>①子どもが不登校になることで、保護者が仕事を退職せざるを得ない現状への課題について認識を伺う。</p> <p>②不登校児童生徒の遅刻及び早退時に、保護者等の付き添いを基本としている学校数について伺う。</p> <p>③不登校児童生徒への登校時のサポートの取組について伺う。</p> <p>④東京都の「家庭と子供の支援員」制度について、概要を伺う。</p> <p>(2) 校内別室指導について</p> <p>①直近の各中学校の開室状況(週に何日か)について伺う。</p> <p>②中学校での校内別室指導の継続と小学校での実施について認識を伺う。</p> <p>(3) 不登校児童生徒の成績評価について</p> <p>①不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果の成績評価に係る法令改正の主な内容について伺う。</p> <p>②不登校児童生徒の成績評価の取組と、梨の実ルームや家庭学習、フリースクール等の学習がどの程度成績評価に反映できているのか状況について伺う。</p> <p>(4) 稲城市教育支援センターのアウトリーチ支援の取組について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>みんなが安心して学べる学校づくりについて</p> <p>文部科学省が公表した「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」では、不登校だけではなく、いじめやいじめ防止対策推進法に規定する重大事態においても過去最多を更新し、早急な未然防止の取組が求められています。学校評価や文部科学省が提案する学校風土等を把握するためのツールの活用は、不登校やいじめを未然に防ぐために重要な取組であると考えます。そこで、学校評価と学校風土の見える化ツールの取組について伺います。</p> <p>(1)学校評価の目的について伺う。</p> <p>(2)学校での学校評価の取組とホームページへの公開状況について伺う。</p> <p>(3)学校評価に関する教育委員会の取組について伺う。</p> <p>(4)児童生徒・保護者対象の評価アンケート(外部アンケート等)の内容について</p> <p>①記名式としている学校数について伺う。</p> <p>②自由記述欄を設けている学校数について伺う。</p> <p>(5)学校風土向上の取組について</p> <p>①文部科学省がCOCOLOプランで紹介している「学校風土の見える化ツール」の活用状況について伺う。</p> <p>②文部科学省が「学校風土の見える化ツール」として紹介しているなかの「子どものための学校風土調査」について認識を伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>学童クラブの拡充について</p> <p>令和4年度に緊急対策として学童クラブの受け入れ定員が拡大され、その後、第三文化センター学童クラブの新設や南山小学校学童クラブが増築されることで、保留児童が概ね解消されている状況かと思えます。一方で、空きが目立つ学童クラブもあり、入所基準の見直しなども必要ではないかと考えます。</p> <p>そこで、今後の学童クラブの拡充に向けた取組について伺います。</p> <p>(1)直近の各学童クラブの空き人数と申請したが入所できなかった人数を伺う。</p> <p>(2)就労等の入所基準の見直しについて伺う。</p> <p>(3)土曜日の利用について</p> <p>①直近の各学童クラブの土曜日の利用人数について伺う。</p> <p>②土曜日のみ学童クラブを利用できる「土曜日定期利用」について認識を伺う。</p> <p>(4)全ての子どもたちが放課後を安全・安心に過ごせるための今後の方針について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>養育費確保支援事業について</p> <p>厚生労働省が実施した「令和3年度全国ひとり親世帯等調査」によると、離婚による母子家庭のうち「養育費の取り決めをしている世帯」は46.7%で、「養育費を現在も受給している世帯」は28.1%と、大変低い水準となっています。また、ひとり親世帯の2世帯に1世帯が相対的貧困という現状であり、子どもの貧困問題の解決には、養育費不払い等に対する支援も必要であると考えます。そこで、本市の養育費に関する現状と支援の取組について伺います。</p> <p>(1)養育費の取り決めや不払い等に関する課題について認識を伺う。</p> <p>(2)養育費確保支援事業について</p> <p>①本事業の各支援内容について伺う。</p> <p>②都内26市の各支援の実施状況について伺う。</p> <p>③本事業の実施の検討について伺う。</p>	

通告番号	会派名	氏名
19	稲志会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>防災に関する稲城市の取組について 本年1月1日に発生した能登半島地震からもうすぐ丸一年が経過しようとしているが、その後の豪雨被害、災害関連死の増加など現地はまだ予断を許さない状況である。同地震の発生後に注目された観点のひとつが『揺れ周期の違いによる建物被害（震度と被害が比例しない）』であったが、</p> <p>(1) 地震発生時における建物倒壊について 建築基準法の耐震基準はこれまでに1971年、1981年及び2000年に大きく改正されてきている。 ①稲城市内における1981年の新耐震基準に対応していない住宅がどの程度あるか把握されているのか伺う。 ②新耐震基準に満たない家屋に対して、これまでにどのような対策を施されてきたのか伺う。</p> <p>(2) 稲城市内の地盤について 国立研究開発法人 防災科学技術研究所が調査した『全国地震動予測地図』では表層地盤データが公表されている。 ①稲城市内において地盤的に揺れが強いとされる地域をどのように把握されているか伺う。 ②地盤が弱いと判断されている地域に対して、何か助言勧告などは行われているのか伺う。 ③行政指導等の事実行為の範囲でも構わないが、市として取り組める方法はどのようなものがあるか伺う。</p>	
2	<p>救急搬送におけるマイナンバーカードの利活用について 本年10月に開催された第86回全国都市問題会議には当市議会からも2会派が参加し、非常に示唆に富んだ講演を拝聴した。その中でもとりわけ興味を惹かれた取組が姫路市が実施している『マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化』であった。個人情報が…と言われる方もまだ一部いらっしゃるが、これぞ市民の生命を守るために最も有用な活用法であると感心したが、</p> <p>(1) マイナンバーカードの保持情報について ①現在発行されているマイナンバーカードではその中にどのような情報が記録されているのか伺う。 ②稲城市ではこれまでにマイナンバーカードの情報を利活用して行なっている取組はあるか伺う。</p> <p>(2) 救急搬送時にマイナンバーカードを利活用することについて ①マイナンバーカードが保持している情報を救急搬送時に活用するメリットをどのように捉えられているか見解を伺う。 ②併せて、利活用する場合にはどのような機材が必要であるか伺う。 ③稲城市としても、救急搬送の迅速化・円滑化に向けてマイナンバーカードを大いに活用するべきと考えるが如何か。</p>	

<p>3</p>	<p>屋外の不動産文化財の整備、活用について</p> <p>こちらも本年視察させていただいた宮崎県西都市で伺ったが「文化財は保存するだけでなく整備して利活用してこそ『財』として生きる」という話には私自身、郷土史家の端くれとして改めて思い直さねばと胸を打たれた。保全のための立ち入り禁止措置から、ハンズ・オン (Hands-on) 展示への変化が注目されている昨今でもあるが、</p> <p>(1) 稲城市内の屋外にある不動産文化財について</p> <p>①小沢天神山城を筆頭に、寺社仏閣、塚、橋等はどうのような方針で整備が行われてきているのか伺う。</p> <p>②昭和の時代に設置された防護柵の劣化、現代の風潮に有刺鉄線は合わないのではないかな等の声も聞かれるが市の認識を伺う。</p> <p>(2) より興味を持てる『触れられる文化財』活用について</p> <p>①近隣でも有名な埼玉古墳群はじめ、触れる、登れる文化財もあるが、稲城市内の遺跡は利活用がされているか伺う。</p> <p>②立ち入り、利活用が難しいと判断されてきた市内遺跡にはどのような場所があるのか伺う。</p> <p>③シビックプライド醸成の一環として、より市民に身近に歴史文化が感じられるよう、再度整備をして市内各地の不動産的文化財を利活用すべきと考えるが如何か。</p>	
----------	--	--